

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護予防エステティック実習		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	60回	2単位(60時間)	必須	
授業の概要				
<p>エステティックケアを通して、老化による身体機能の低下を防ぎ、介護を必要としない健康で活動的かつ自立した生活を送るサポートをすることができるよう技術と知識を学ぶ。また、高齢者などの幅広い年齢層のお客様に対応できるよう技術前のカウンセリングを入念に行い、禁忌事項の確認や化粧品の選定の重要性を学び、介護予防エステティックを実践しながら学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>お客様の体調、皮膚の状態、禁忌事項を把握した上で、適切な技術内容や化粧品を選べるセラピストを目指す。お客様を心身健康に導き、QOL(生活の質)を上げることのできるセラピストとして、幅広い知識を持ち、お客様に合わせたホームケアアドバイスや指導が出来る介護予防セラピストの資格取得を目指す。</p>				
回	テーマ	内容		
1～4	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策①		
5～8	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策②		
9～12	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策③		
13～16	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策④		
17～20	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑤		
21～24	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑥		
25～28	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑦		
29～32	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑧		
33～36	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑨		
37～40	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑩		
41～44	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑪		
45～48	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑫		
49～52	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑬		
53～56	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑭		
57～60	介護予防エステティック実習	介護予防セラピストボディ試験対策⑮		

回	テーマ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本スパ・ウエルネス協会 『スパセラピー』 『介護予防ウエルネス学』 『理論Ⅰ～Ⅵ』 『技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ』 ・筆記用具 ・ノート ・バインダー ・制服・ナースシューズ ・化粧品各種 ・衛生消毒備品 ・タオル類 ・その他、トリートメントに必要な機器・備品 	<p>出席率</p> <p>授業態度</p> <p>実習・実技評価</p> <p>期末試験</p>	<p>10.0%</p> <p>10.0%</p> <p>10.0%</p> <p>70.0%</p>	<p>定期実技試験は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。</p> <p>出席率90%以下の場合、成績評価の対象外となるので注意すること。</p> <p>遅刻・早退は10分まで。遅刻・早退3回で欠席1回とする。</p> <p>施術禁忌に当たる学生は実習モデルを行わない。日頃から体調管理やケガ等をしてないように心掛けること。事前に実習にふさわしい身だしなみ（制服着用、髪型）を整え授業に臨むこと。</p>